鴻島ニュース

第14号
―2005―
中央地区
自治会
広報委員会

ごあいさつ

中央地区自治会長　長瀬　直

新緑の鮮やかな季節となりました。

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年も第14回中央地区別荘自治会の総会において会長の再任となりました。役員と会員の皆様のご支援ご協力のもと、一年微力ながら会の運営に努めて参る所存です。よろしくお願い申し上げます。

昨年は台風19号、21号、23号と3つの大型台風が接近し、別荘地の家屋や道路に大きな被害をもたらしました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。また、被害にあわれた方々で火災保険の住宅総合保険により風水害保障による保障を受けた方もありましたので、是非未加入の方は保険加入をお勧め致します。

別荘地も18年経過し、色々と維持管理も大変だと思いますが、会員同士「互助精神」に立ち返って、この美しい景色を贅沢に楽しみたいと思います。

総会報告

第14回鴻島中央地区別荘自治会定時総会が連休中の5月3日に日生小鴻島分校講堂において開催されました。出席者及び委任状を頂いた方々で95名（70％）となり、総会は成立致しました。総会は会計報告が会計担当の森さんより行われました。続いて会計監査役の寺浦さんより会計監査が了承されました。引き続き事務局の平田さんより鴻島の諸事情についての連絡や説明があり出席者と様々な意見交換等がありました。中でも昨年の台風19号、21号、23号についての被害と修理についての報告が説明されました。その後役員の退任と新任が決まり、また今年度予算案が出席者全員の賛成で承認されました。

総会の後出席者全員参加となる懇親会が引き続き行われました。酒、ビール、たこつぼの料理などで食事をしながら参加者による意見、情報交換等があちらこちらでにぎやかに行われて大変好評でした。また、来年も行う予定です。今回欠席された方も来春の総会にはぜひ出席して下さい。自治会の運営にもお力添えお願い申し上げます。

会計報告　削除

事務局よりお知らせ

鴻島ではゴミの分別収集が行われています。まだ一部の方が、指定通りに行っていません。自治会では、収集業者に補助金を月5万円支払って、指定通りになっていないゴミも回収してもらっています。皆様の廻りの方々にもルールを守るようにお互いに気を配って下さい。念のためゴミのルールを確認しておきます。

■ごみの収集日

ごみの種類	収集日
もえるごみ	毎週火曜日
ペットボトル トレイ 紙類	毎月 第4木曜日
ビン もえないゴミ 粗大ゴミ	毎月 第3木曜日

・生ゴミ（可燃物）を備前市指定ゴミ袋（30枚1，350円）に入れて出す
・従来の黒かスーパーの袋ではゴミは持っていかないので使用しないこと
・缶・ビン（不燃物）は透明な袋に入れること（スーパーの袋も可）
・ペットボトルはラベル・金属フタ等を取り透明な袋にいれること
・以上別々にゴミ袋に入れてください

★会員でない人に申し上げます。

自治会活動は会員の負担で行われています。別荘地も18年たち道路の補修や溝掃除も会費でまかなっています。持主が売買によって替わった場合や知らない会員外の人たちは何も負担していません。道路や溝や車の撤去や水道の破損も全て会員たちの負担なのです。折角手に入れた別荘も公共性は高いのです。皆様相応の負担をするのが社会のルールだと思います。島を利用するにはぜひ、会員になって頂きたいと思います。ご近所で持主が替わった方にはぜひ説明して下さい。

★車両放置は絶対にやめて下さい。

今季は、車両の撤去を致しません。だんだん増えて通行の邪魔になっています。撤去費用は自治会で負担しています。中央地区で約20軒の人が会員ではありません。皆様の隣近所で会員外の人が車の使用をしている時、その後放置がないかよく注視して下さい。放置がわかれば自治会で注意したいと思います。

★火事の予防のお願い

鴻島では過去18年間に6回の火事が起こっています。特に強風が急に吹く事もあり、ゴミや落葉等のたき火は絶対しない様に気を付けて下さい。お互いに注意しましょう。

新聞だより

同好会のご案内

現在、左記の同好会が活動しています。

会員の皆さんの親睦目的につくられた会です。上手も下手もありません。楽しい一時を過ごしましょう。

皆さんの参加をお待ちしております。

○土いじりの会

備前焼が隣町なので窯元で教えて頂きながら、童心にかえり、泥遊びはいかがでしょうか。

0794-35-0466
森田迄（会社）

○魚釣りの会

磯釣り、船釣りを楽しみながら、自慢話に花を咲かせてみませんか。

樽家紀之

○ゴルフの会

上級者はもちろん、初心者の方も大歓迎です。年に2～3回のコンペで練習の成果を競ってみませんか。

06-6451-0578
長瀬迄（会社）

役員名簿〈平成17年度〉

（会長）長瀬　直
（会計）森　啓充
（監査）寺浦　格・樽家紀之
　　青野正勝
（事務局）○八六九（八八）一七五六
　　平田文夫
（理　事）（再任）桑原高己・松井努・浅島俊男・米田稔・泰脩二・吉田とし子・森田孝・西野健一
（新任）高岸暘子
（順不同）

漁業そして観光――

海の恵みを生かし発展

新鮮な魚介類が人気を集める日生の五味の市は旧所在地の南隣りに移転新築され、二月二十七日にオープンした。

波と風をイメージした外観と、内部は太い梁がむき出しの裸電球が下がるレトロな鮮魚店風。

漁協や観光関係者は「町のさらなる集客力アップを！」と期待を寄せている。

日生町は一九五五年三月三十一日。旧日生町と旧福河村が合併して生まれた。

合併と同じ年、JR赤穂線の赤穂―日生間が開通。祝賀列車が歓声に迎えられて日生駅に到着し、地元の漁船はのぼりを立てて海上パレードを行った。交通新時代の幕開けと同時に町は第一歩を踏み出した。今年三月二十二日、備前市、吉永町と合併して新備前市となった。

カキ養殖柱に

瀬戸内海に豊かな自然に恵まれた日生は天然の良港で海運業と漁業の町として栄えてきた。中でも漁業は明治時代から国内各地や朝鮮半島にまで出漁。合併後の一時期、北洋での遠洋漁業も行われた。

一九六〇年代以降は、とる漁業から「つくる漁業」へと幅が広がり、六三年からは本格的にカキ養殖がスタート。現在は小型底引き網などとともに町の漁業の柱となっている。

二〇〇二年からは県の東備地区広域漁場整備事業の海洋牧場構想に基づいて、鹿久居島南部海域で魚の産卵場所となるアマモ場の育成や魚礁の設置が始まった。〇九年度まで続く事業で、将来的には音を出しながら餌を与え、魚を定着させる音響給餌施設や釣り公園の整備が計画されている。

同町漁業の本多和士組合長は「今や漁業は魚を育てながらとらなければ成り立たない。漁業整備によって豊かな海を次の世代に引き継いでいきたい」と力を込める。

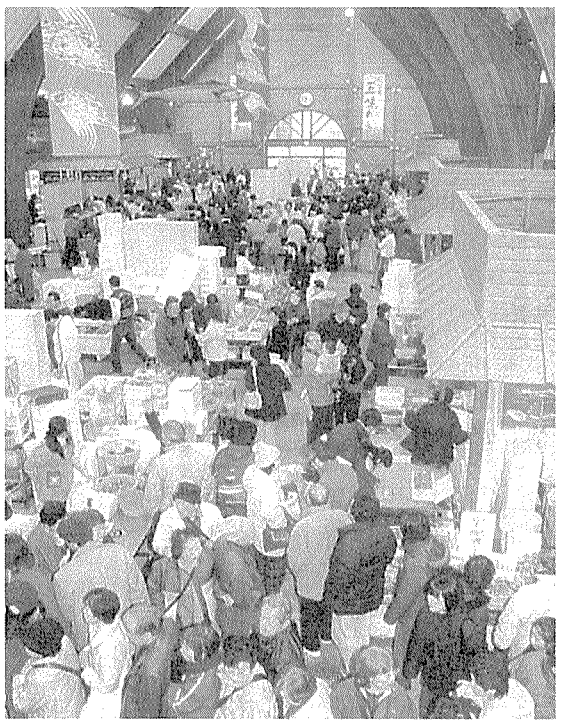
集客力に期待

海の町・日生はもう一つの柱は、海の幸を求めて、さらに、「源平放水合戦」や「ひなせかき祭」などのイベントに、県内外から多くの人が訪れる観光。九〇年には観光情報センター・サンバース、九三年には鹿久居島に古代体験の郷まほろばが整備された。〇四年には日生諸島で最も民宿の多い頭島と鹿久居島を結ぶ頭島大橋（全長三百メートル）が開通。瀬戸内の多島美を楽しみながらプレーできる頭島グランドゴルフ場も完成した。

新鮮な魚介類が人気を集める五味の市は旧所在地の南隣りに移転新築され、二月二十七日にオープンした。波と風をイメージした外観で、太い梁がむき出しの内部は裸電球が下がるレトロな鮮魚店風。水槽とセットになった五十の売り台や魚にさわれるタッチングプール、行き交う船が眺められるウッドデッキなどがあり、観光の目玉として集客力アップに期待がかかる。

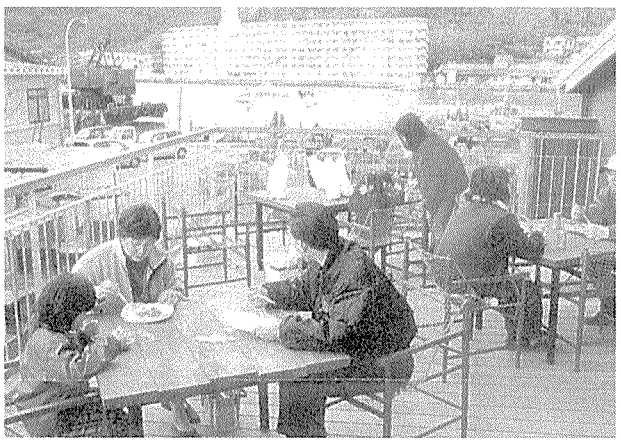
振興への布石

近年、日生町信用農協の破たん（〇一年）、町の土地売買をめぐる不正事件（〇三年）、台風による空前の高潮被害（〇四年）と暗いニュースが相次いだが、新五味の市整備、海洋牧場構想の推進など地域振興への布石は着々と進んでいる。「合併で日生町はなくなったが漁業とそれを生かした観光に活路を見いだすという地域のスタンスは変わらない。交流人口を増やすことがカギを握る」西岡憲康市長（元、日生町長）海の恵みに生き、海とともに歩んできた町の魅力は新市に引き継がれていく。



来館者に賑わう五味の市。高い天井と広々とした館内は活気にあふれた。

五味の市オープン



2階のウッドデッキからは、行き交う船が眺められる。歩き疲れた家族連れがほっとひと息。

― 平成の大合併市長選 ―

備前市長に西岡氏

備前市長選で当選を決め、支持者と万歳する西岡氏（中央）

備前市、日生、吉永町の対等合併により、二〇〇五年三月二十二日に誕生した新「備前市」の市長選が二十四日投票された。即日開票の結果、元日生町長で無所属新人の西岡憲康氏（六三）が初当選した。これにより新「備前市」が本格的にスタートする。

元備前市長の栗山志朗氏（六八）＝公明推薦＝を破り、激戦の末、元日生町長の西岡憲康（六三）氏が当選を決めた。

西岡氏は「すべてのエネルギーと情熱をこめて新しいまちづくりに取り組むと」と抱負を語った。

選挙戦は新市のまちづくりのビジョン、少子高齢化対策、地域経済の再生などが争点となった。

西岡氏は、中学生までの医療費無料化による子育て支援、行革に向けた市長給料の30％カットなど積極的な施策を打ち出し、地元の旧日生町だけでなく、有権者の多い旧備前市でも幅広い支持を集めた。

栗山氏は、旧備前市長を三期務めた実績を訴えたが、及ばなかった。

投票者数は二万五千七百五十七人。投票率は75・65％。

にしおか　のりやす
西岡　憲康
（63才）

岡山県職員を経て、1975年から連続4期14年、同県議会議員。2003年から旧日生町長。京都大学法学部卒。備前市日生町寒河。

頭島大橋開通（全長300メートル）

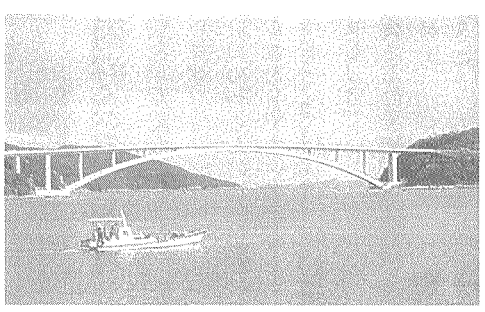
日生町が建設を進めてきた頭島大橋が完成し、昨年十一月二十二日に開通した。日生諸島の鹿久居島―頭島を結ぶ全長三百メートル、幅六・五メートルのアーチ橋。同町中心部から頭島に至る町道の一期工事分の一部。

橋のアーチ支間は二百十八メートルで、富士川橋（静岡県）などに次いで国内四番目。民宿が集中し、漁業も盛んな日生諸島の中心・頭島（百七十二世帯、四百六十四人）と面積が千十七ヘクタールで県内最大の鹿久居島（七世帯、十三人）を結ぶ。道路を含めた一期工事の全長は二千五百十九メートル。

島民の生活の利便性を向上と町面積の三分の一を占める鹿久居島の有効活用を目指して二〇〇〇年に着工していた。道路部分を含めた一期工事の総事業費は約五十億円。

一期工事は鹿久居島北西部までの道路が〇五年度中に完成して終了する。

二期工事は全長約二千百メートル（架橋部分七百メートル）で、国の厳しい財政事情もあるが、町は〇六年度の事業採択を目指している。



頭島と鹿久居島を結ぶ国内4番目のアーチ橋。